

鵜川沙流川流域治水プロジェクト（最終とりまとめ案）

令和3年3月19日

3/19時点案

鵜川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～人と自然が輝く清流のまち“むかわ町”を洪水から守る治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、鵜川水系においても、基幹産業であるレタス等の農業生産地の資産が集中していることから、以下の事前防災対策の取組みを実施していくことで国管理区間においては、鵜川流域で甚大な被害が発生した戦後最大の平成4年8月洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、樹木伐採
- ・堤防整備
- ・既存ダム2ダムにおける事前放流等の実施及び施設整備・体制構築
(関係者: 国、北海道、市町村、電力会社など)
- ・治山対策
- ・森林整備
- ・かんがい排水事業による排水路整備
- ・地震・津波対策 等



河道掘削(室蘭開発建設部)



治山対策
(北海道森林管理局、北海道)

●被害を減少させるための対策

- ・消防庁舎(むかわ支署)の嵩上げ
- ・まちづくりでの活用を視野にした多段的な浸水リスク情報の提供 等



消防庁舎の嵩上げ(むかわ町)

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水害リスク空白域の解消に向けた取組み
- ・マイタイムラインの普及推進
- ・多機関連携タイムラインを活用した訓練
- ・防災教育の実施
- ・公営住宅などの屋上に避難場所を設置
- ・水防資材の備蓄 等



タイムラインを活用した訓練(むかわ町)



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

3/19時点案

鵜川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ・効果】

～人と自然が輝く清流のまち“むかわ町”を洪水から守る治水対策の推進～

●鵜川では、基幹産業である農業生産地等の資産が中下流部に集中する流域の特徴を踏まえ、流域全体を俯瞰し、国、道、町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】鵜川流域の人口・資産が集中する下流部で堤防整備、かつ、農業排水路及び水位低下を目的とした中流域の河道掘削を実施するとともに、あわせて、消防庁舎の嵩上げ、マイタイムラインの作成等を行う。

【中期】引続き中流域の浸水被害を防ぐために河道掘削を実施。

【中長期】人口・資産が集中する穂別地区等の河道掘削を実施。

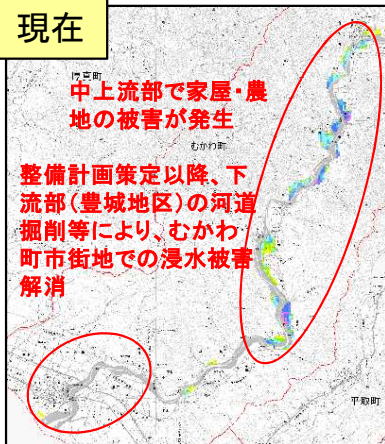
区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
	流域人口・資産が集中する鵜川下流部の堤防整備	室蘭開発建設部	下流部(豊城築堤)		
	鵜川中流部の資産を守る河道掘削	室蘭開発建設部	生田、旭岡地区	仁和、豊泉地区	豊田、穂別地区
	山地災害から流域を守る治山対策	北海道森林管理局 北海道	治山施設等の整備		
	森林の水源涵養機能維持・向上のための森林整備	北海道森林管理局 北海道、市町村 等 森林整備センター	植栽・間伐などの森林整備を実施		
	河川への急激な雨水流出を抑制する流出抑制対策	室蘭開発建設部 北海道	農業排水路の整備、田んぼダム (むかわ町)		
被害対象を減少させるための対策	土地利用・住まいの工夫	むかわ町	消防庁舎嵩上げ (むかわ町)		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	被害軽減対策	むかわ町	避難場所設置、マイタイムラインの推進 (むかわ町)		
	早期復旧のための対策	むかわ町 占冠村	水防資機材の備蓄 (むかわ町、占冠村)		

■事業規模

河川対策(約 億円)
対策内容 河道掘削、堤防整備 等

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

現在



短期



中期



中長期

浸水被害解消

※直轄管理区間において、平成4年8月洪水(戦後最大)と同規模の洪水が発生した場合に、氾濫ブロックで被害最大となる1箇所を破壊させた場合の氾濫想定範囲

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、沙流川水系においても、基幹産業であるトマト生産地や軽種馬の生産育成地等の資産が集中していることから、以下の事前防災対策の取組みを実施していくことで国管理区間においては、沙流川流域で甚大な被害が発生した戦後最大の平成15年8月洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、樹木伐採
- ・既存ダム3ダムにおける事前放流等の実施・体制構築（関係者：国、北海道、市町村、電力会社など）
- ・土砂災害対策（砂防関係施設の整備）
- ・治山対策
- ・森林整備
- ・かんがい排水事業による排水路整備等
- ・沙流川総合開発事業（平取ダム）
- ・地震・津波対策 等

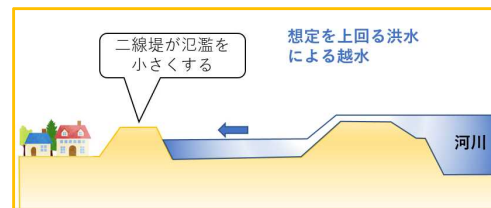


河道掘削（室蘭開発建設部）

治山対策
（北海道森林管理局、北海道）

●被害を減少させるための対策

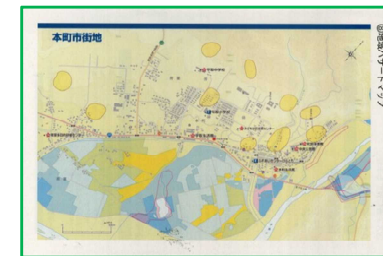
- ・二線堤等の整備検討
- ・農地の嵩上げ検討
- ・まちづくりでの活用を視野にした多段的な浸水リスク情報の提供 等



二線堤整備イメージ（日高町・平取町）

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水害リスク空白域の解消に向けた取組み
- ・マイタイムラインの普及推進
- ・多機関連携タイムラインを活用した訓練
- ・地域ハザードマップの作成
- ・GIS位置情報等を活用した要避難配慮者支援の推進
- ・防災教育の実施
- ・水防資材の備蓄
- ・公共施設等建設時に避難場所の設置等を検討 等



地域ハザードマップの作成（平取町）

農業排水路整備

地震津波対策

日高町

防災教育の実施

水防資材の備蓄

公共施設等の建設時に避難場所の設置等を検討

河道掘削・樹木伐採

二風谷ダム

事前放流等

平取町

地域ハザードマップの作成

GIS位置情報等を活用した要配慮者支援の推進

防災教育の実施

水防資材の備蓄

治山対策

岩知志ダム

事前放流等

沙流川総合開発事業
（平取ダム）

日高町・平取町共通

二線堤の検討

農地の嵩上げ検討

水災害の発生頻度に応じた浸水想定情報の提供

マイタイムラインの普及推進

多機関連携タイムラインを活用した訓練

日高町

防災教育の実施

水防資材の備蓄

公共施設等の建設時に避難場所の設置等を検討

沙流川圏域
河川整備

砂防関係施設の整備

森林整備

奥沙流ダム

事前放流等

凡例

浸水範囲（H15.8洪水実績）

沙流川流域の境界

国管理区間

市町村境界

ダム

ダム（建設中）

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

3/19時点案

沙流川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ・効果】

～ブランド食材と伝統文化が生きる街「ひだか・びらとり」を洪水被害から守る治水対策の推進～

●沙流川では、基幹産業である農業生産地、軽種馬生産育成地等の資産が中下流部に集中する流域の特徴を踏まえ、流域全体を俯瞰し、国、道、町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】沙流川流域の人口・資産が集中する下流部で水位低下を目的とした河道掘削を実施するとともに、農業排水路整備及び平取ダムの建設等を実施。

あわせて、地域ハザードマップ、マイタイムラインの作成等を行う。

【中長期】引続き人口資産が集中する中流部の河道掘削を実施。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	平取ダムの建設	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	沙流川流域を洪水被害から守るダム建設	室蘭開発建設部	下流部		
	沙流川中下流部の資産を守る河道掘削	室蘭開発建設部 北海道	中流部		
	土石災害から流域を守る砂防施設の整備	北海道	砂防施設の整備		
	山地災害から流域を守る治山対策	北海道森林管理局 北海道	治山施設等の整備		
	森林の水涵養機能維持・向上のための森林整備	北海道森林管理局 北海道、市町村 等 森林整備センター	植栽・間伐などの森林整備を実施		
	河川への急激な雨水流出を抑制する流出抑制対策	北海道	農業排水路の整備		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	被害軽減対策	平取町	・地域ハザードマップの作成(平取町) ・マイタイムラインの推進(日高町、平取町)		
	早期復旧のための対策	日高町 平取町	水防資機材の備蓄 (日高町、平取町)		

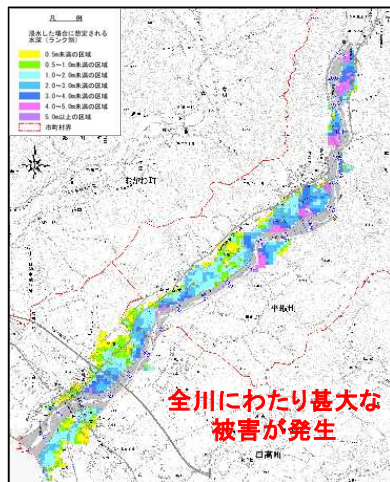
■事業規模

河川対策(約 億円)
対策内容 河道掘削、ダム建設 等

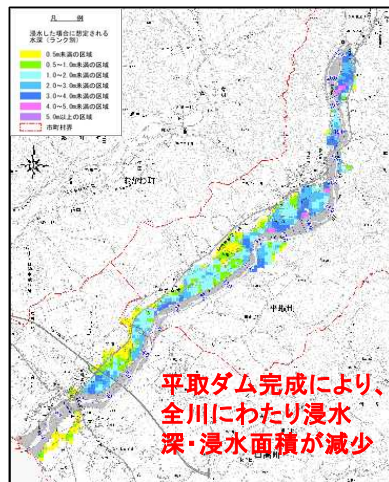
砂防対策(約 億円)
対策内容 砂防関係施設の整備

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

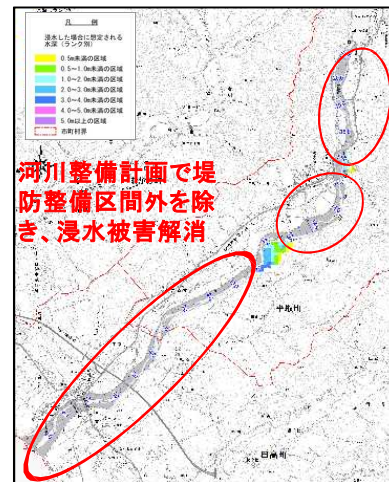
現在



短期



中長期



※直轄管理区間において、平成15年8月洪水(戦後最大)と同規模の洪水が発生した場合に、氾濫ブロックで被害最大となる1箇所を破堤させた場合の氾濫想定範囲